

当院における大腸手術での術前経口抗菌薬投与による手術部位感染発生への影響調査

◆ 研究の対象となる方

2016年9月～2022年8月で外科にて大腸手術のクリニカルパスを適用された方

◆ 目的・方法

近年の大腸手術における手術部位感染(以下、SSI)予防に関する国内外の多くのガイドラインにおいて、大腸術前の機械的腸管処置(以下、MBP)と術前日に経口抗菌薬の投与を行う化学的腸管処置(以下、OABP)を併用することでSSIに予防効果がある可能性があり、推奨されてきています。当院では、2019年9月より大腸手術の術前処置をMBPに加えて、OABPも実施するようにクリニカルパスの内容を変更しました。SSI発生への影響について当院におけるOABP導入前後での比較検討で得られた情報を使用して分析を行います。

この研究で収集しました情報は個人情報削除し、当院内で情報を集約し、解析・検証を行います。

◆ 研究に使用する情報

年齢、性別、身長、体重、生化学検査値、薬剤投与歴、培養検査結果、手術時の情報など診療の中で得られた情報を使用します。

この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

◆ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問合せ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

本研究に用いられる情報について患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	福岡県済生会福岡総合病院 薬剤部 大田典正 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)
-----	---

以上